

昭和 年 月 日

面白カラザル事態、弊生ヲ防止スル意圖ヲ此ヲ指導  
 取締ヲ行フ所<sup>ハ</sup>也。私トシテハ、當時ノ情勢カカラ  
 考ヘテ此レ以上ノ良ク方法カナイト信ジテ居リ  
 コレヨリ<sup>ハ</sup>、指導時<sup>ニ</sup>、警署署長ト<sup>ハ</sup>、絶対的ニ眞  
 二公正ヲ指導取締リ<sup>ハ</sup>、行フ所<sup>ハ</sup>也<sup>ナリ</sup>。此レヲ居リシ  
 又私ノ上司カ、昨日別知事ヤ、昨日別警署署長  
 ヤ、特高課長ヤ、其<sup>ハ</sup>、横事等<sup>ノ</sup>ハ、勿論、花園銘  
 山、地帯<sup>ニ</sup>、及其附近<sup>ノ</sup>、所<sup>ハ</sup>、お郡塔ノ民衆ニ  
 至ル<sup>ニ</sup>、私ノ持ッる<sup>レ</sup>知置<sup>ヲ</sup>、貴<sup>レ</sup>所<sup>ニ</sup>、<sub>賛</sub><sup>シ</sup>テタシム<sup>ル</sup>ナ  
 アリ<sup>ニ</sup>、勿論、私ノヤツカ、エトハ、私、独自、意思ヲヤツ  
 又事ヲヤク、凡テ、検査ヤ、特高課長ノ命、今  
 ヤ指子ニ依ッテ、行フ<sup>ル</sup>、テ、エカラ、検査ヤ、特高  
 課長ノ指導命令、今、痛<sup>ク</sup>、當人ニ、テ、マツル事



昭和 年 月 日

ハ立証サレルノアリニ 此事實ハ今現地ニ行  
ツテ當時ノ情況ヲ知ル民衆ニ 訊示シテ判明スル  
事ナシ

之ト及テハ 鹿島 畑花園出張所 職員其他  
中山寮 隣保 半南時ノ 情況ニ付テ 花園 銘  
山 地帯 並 附近 所 有 部 隊 民 衆 中 當 時  
ノ 情 況 ヲ 知 ル ニ 依 中 記 示 ヲ 見 レ 心 到 リ  
コトガ 鹿島 畑花園 出張所 華中 一般 民衆 カラハ  
要 詳 子 受 ケ 居 事 實 然 示 ア リ 云 ス。  
現在 元 事 照 和 三 年 六 月 三 日 生 生 中  
山 寮 ノ 華 中 一 般 人 逃 走 事 件 ニ 關 シ 責  
任 所 在 ニ 付 テ 花園 銘 山 地 帯 並 附 近 所  
有 部 隊 ノ 民 衆 カラ 一 般 事 實 識 的 ニ 興

昭和 年 月 日

調査ヲ取リ心判死ニシカラスト思ヒ之

此ノ書他所存ハ中書ヲ望望有長三南

有 大箱

太一官ニ係ルモノカ茂島紀花園出張所ノ

書信ニ係ルモノカト云フ推事ハ一般民衆ノ公正

ヲ判断スルモノナラバ私ノ書信見トテ存スル

事トモセシ。判トモ得ルト思ヒ之。

(四) 此ニ事件取調ハ状況ニ付テ私ノ知ル範圍ノ事ヲ

申上ケ之

● 事件ノ取調状況ノ詳細ノ真ニ付テ長告

川権事、ヤ鎌田特高課長ニ訊スルト判リ

之。

私ノ是レカヲ申述スルハ鎌田特高課長カ

三 聞りの事 云々。

如圖、

(四) 六月三十日中山繁子ニ殺生し、其半弟ノ殺人事

件ノ起因ハ

(一) 中山繁子ノ日本人ノ半弟指導員ガ其半弟ニ

対シテ行へし暴行虐待ノ事實。

(二) 給食ノ糧的不足ト值的粗悪ノ事實。

(三) 病氣患者ニ充分治療ヲ出ス、不親切ノ

並其ノ不備欠額ノ事實。

等テアテ 様ナシ。

(五) 第一原因ヲ答ス暴行虐待行爲ノ事實ハ

當時取調ニ當リテ長谷川檢事及鑑田

特高課長ガ知ツテ居外事件記録ト共

ニ秋田地方裁判所檢事局ニ送らる

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

内調書ニ依ツテ見レハ判明スル思ヒニテ  
 在任待行為ニ行ハレシヤ否ヤ時期ニ付テハ判リテセ  
 ニカク取調バノ責任者ナル長官ハ推事ヤ鑑曰  
 特高課長カ知ルト思ヒニテ

此ノ暴行在任待行為ノ行ハレシヤ事カ甚キ事ナリ  
 憤

激テ難カモシテ遂ニ彼ノ教人行爲カ行ハレシヤ  
 トノ事ナリトコノ暴行在任待行為ハ私カ大報

紙ニ登載セラルトシテ就任ニルル前カウ相考  
 長ク続クテ居ツト聞クテ居リニテ

之カ事件発生ノ主要ト重大原因ナリ  
 之ノ様ナリ

九三) 第一原因ノ給食糧的不足ヲ云フカ私カ大報  
 紙ニ登載セラルトシテ就任ニルル前カウノ

給食糧的不足ヲ云フカ私カ大報  
 紙ニ登載セラルトシテ就任ニルル前カウノ

昭和 年 月 日

此ノ事ニ問題ニナリテ居ルノカイツノソウチニ此  
 し又取調者<sup>詳細</sup>此ノ<sup>詳細</sup>検査ヤ 鑑白特高  
 諸長カ判<sup>詳細</sup>此ノ<sup>詳細</sup>検査糧ノ不足ノ裏  
 六、ゆラゴ 渡島組花岡出張所関係者ニ不  
 正行爲ヲ為スルカアルト思ヒ<sup>詳細</sup>テ内佐シカカ判  
 死セ<sup>詳細</sup>其ノ<sup>詳細</sup>信<sup>詳細</sup>ニナリ<sup>詳細</sup>シカカ<sup>詳細</sup>其ノ<sup>詳細</sup>信  
 和千一年七月<sup>詳細</sup> 渡島組花岡出張所長  
 鈴木未吉 (現在社内出張所長) 安部長  
 =依ツテ<sup>詳細</sup>渡島組花岡出張所員カ若干  
 第ハ<sup>詳細</sup>給食ニ<sup>詳細</sup>リ<sup>詳細</sup>ケ<sup>詳細</sup>シ<sup>詳細</sup>カ<sup>詳細</sup>及<sup>詳細</sup>其ノ<sup>詳細</sup>他ノ  
 物<sup>詳細</sup>ア<sup>詳細</sup>ラ<sup>詳細</sup>横<sup>詳細</sup>領<sup>詳細</sup>消<sup>詳細</sup>費<sup>詳細</sup>シ<sup>詳細</sup>ル<sup>詳細</sup>事<sup>詳細</sup>件<sup>詳細</sup>カ<sup>詳細</sup>検査  
 サ<sup>詳細</sup>レ<sup>詳細</sup>シ<sup>詳細</sup>ル<sup>詳細</sup>事<sup>詳細</sup>件<sup>詳細</sup>ハ<sup>詳細</sup>前<sup>詳細</sup>記<sup>詳細</sup>鈴木未吉及社  
 員<sup>詳細</sup>カ<sup>詳細</sup>検査<sup>詳細</sup>ス<sup>詳細</sup>ル<sup>詳細</sup>等<sup>詳細</sup>ニ<sup>詳細</sup>付<sup>詳細</sup>テ

知子

昭和  
年  
月  
日

調査ヲスレハ判明致シマス

此ノ事實ニ依ツテ當時農鳥の花園出張  
所職員及役員が甚平第1ノ給食物  
造テ前職ニテ居ツル事ハ判明シテ  
私ハ此ノ横領事件ノ詳細ハ内容ハ判  
リマセン。

斯ノ如ク給食糧ヲ不足ニシテ為メ當時甚平  
第1ノ健康ヲ害シテ

病弱者ヲ多ク出シ居リマス。

又此ノ横領物値ノ中ニハ調味料ニ使用スル

モノモアルト、事ヲ聞キテ居リマスが其ノ種類

ハ判ツキリ私ハ知リマセン 只甚平第1ノ調味料

料モ横領消費セテ甚平第1ノ給食ニ



昭和 年 月 日

用ヒナカワトズレハ給食ハ質的ニ粗悪デアツ  
又事々事実デアツト思ハレマス

此ノ横領事件ハ何時頃カラ何時頃ゾデ

三行ハレタカノ卓元私ハ知ツテ居リマセンガ

此ノ横領行為が存在シテ来ル事ハ皆田

時中山寮ノ葦原が給食ノ量的不足

ト質的粗悪ヲ叫ビ不平ヲ醸成シテ

事実ヲ立証セラルト思ヒマス。

(留) 第三原因ノ事実デアリスガ此ノ事ハ六月三日

以前ニ中山寮ノ葦原が隊長デアツテ

葦原が取調者(氏名不詳)ニ語ツテ事

外ト聞イテ居リスカラ 鎌田特高課長

ハ詳シク知ツテ居ント思ヒマス。

昭和  
年  
月  
日

ソノ諸ツ事ノ内若ハ  
 結食ノ粗悪ナリトカウ毎日病人ヲ出テ  
 居リ其ノ數ニ増加シテ来テ居ル併ニ此  
 ノ病人ニ対テ治療子ニ申出ルニ着目護  
 又兼不完令テ死七者ニ申出ルニ  
 多クナリテ来テ居ル状態カ斯ニナリ具  
 在テハ若クモ何時何ニナリ事ニカ知ラ  
 ン今何一年何ニ果シテ生キテ歸國  
 出来ル事カ得ラレカ何カ疑ハレ  
 ハ思フテ居ル  
 トハ心境ヲ告白シテ外ソウナス此ノ  
 告白ニテ其ノ第大隊長ノ心境ハ四軍志  
 一時の苦難ヲ告ゲタモ一初十初  
 告

昭和 年 月 日

相ヲ真剣ニ認ムル事ト思ヒマス

(註) 以上ノ三點が事件發生ノ主要原因デ

アツク其トノ事デス

ソレヲ前記 華芳大隊長ノ事件ヲ記

ス 總指揮者トナリタノ知ソウデス、ソノ事件

ヲ悉ク起ストキ、心境トシテ 却取調

ハ者ニ 認ラタ事ノ一部ニ

「五月ハ毎日ノ如ク日本人指導者力カラ

暴行虐待サレ更ニ給食ハ糧的ニ不

足ナカリナリ、病的ニ悪ク病人スル毎日

ノ様ニ出ルシ病人ノ救護ニ悪クソレカ

知メニ死者が故ニ多クナリ、此ノ

状態ヲ此ノ儘ニシテ四週ケバ 今後一ケ

昭和 年 月 日

何ニハ吾々が嘗て死ンデアッテカモ知シナイ五々々  
 又何時何ウサセルカ計リ知シナイモノ知軍中  
 ンテ吾々の帰國が出来ルモノヤラ何ウカ  
 判ラナイコレハ今ノ中ニ問題ヲ起シテ  
 吾々の甚半が全部逃走シ心教言案ハ  
 其儘黙認シテ僥倖<sup>シ</sup>ゆる<sup>ク</sup>五々々ヲ助ケテ呉レルト  
 思フモノテ事件ヲ甚ナ起シ決意ヲ  
 シテ部下ニお前<sup>ノ</sup>指<sup>シ</sup>指<sup>ス</sup>不  
 シヨノ<sup>ノ</sup>外<sup>ニ</sup>シ  
 ト云フ事ヲモ 無ツタトノ事案ニ聞キ  
 テ居リマス此ノ事案ニ鑑<sup>ミ</sup>日特高課長  
 カ長谷川横事カ知詳シク知ツテ居ンニト  
 思<sup>ヒ</sup>シ<sup>レ</sup>マ<sup>ス</sup>

又中山警察、新現場、檢証ハ誰レノ搭

エニ依ツテ誰カ行ツテアツカハ、私ハ別リニセ

ンガ其ノ時ノ檢証調書ニ其ノ内ノ伏

況ハ勿論其ノ附屬倉庫ヤ倉庫

内ノ物名等モ明細ニ記載サシテ居ル事

ト思ヒマス其ノ記載物屬ノ中ニハ、

リケン粉レノ保存數目見エアル事ト思

ヒマス此ノ記載事實ニ依ツテ是等時ノ

ケン粉レが保有アルニカカワラズ給食用ノ

ケン粉レが保有アルニカカワラズ給食用ノ

此ノケン粉レが、補充ナシレハ給食が出

来ヌト云ツテ給食ヲ運送シ、口實ヲ

造シテ居ツル事、此ノ事實ハ

昭和

當時檢証調書作成者或ハ檢証担任者ニ訊

スルト、ケン粉レが保存數目見エアル事

昭和 年 月 日

此ノ事件ノ処理ノ結果トシテ當時秋田地方裁判  
 所檢事馬尾ニ送致シテ事件ノ一見ニ記  
 録書類ハ當時ノ大領事官署署長  
 ノ書任ニ於ケテ作成セシメ居ルノアリキニカ  
 如何ナル理由カラ彼ノ事件が「國所保身  
 法」ニ依リ知断セシメ居ルカハ私ハ今テモ  
 判明トシテ居リマセン。

従ッテ當時ノ事情ヲ申述ビテト  
 爾時彼ノ事件ノ處理ニ関シテ「權事  
 長」特高ヲ釋、秋田地方裁判所檢事  
 長告リ檢事及秋田別館署長等  
~~特高~~ 鎌田特高課長ノ指揮命令ニ  
 依ッテ其ノ任務ヲ果シテ来~~ル~~中

(七三三〇号)

全二六〇テ

・秋田地方裁判所検事馬カウヒ具崎検

事正(現在、住所不詳)ノ来場アリニシテ。

其ノ旨ニ依リテ、直接稽子、任ニアツ

思ハレシヨカ知入、直接稽子、任ニアツ

タノハ、検事馬カウヒ具崎検事マシシ

庫ニ化台控訴院及東京大審判院

カウヒ具崎検事、来場アツテ、相談議シ

又結果、本事件ハ、國政保安法ニ依

ツテ、知断スル事ニ決定シ、外ト為時

強御特高課長カウヒ具崎ニシテ

從ツテ、國政保安法ニ依リテ、知断スル

事件ハ、凡テ、検事ニ依リテ、知断スル

事ハ、法想ニ依リテ、然ト決定サシテ

昭和 年 月 日

昭和  
年  
月  
日

居ツるノテアリエカラ 敬言 署名 官印 洗印ハ  
 全部 換事ノ 補助ニ 過キナカフモノテ  
 アリエス 斯様ナ 情状ノ 下ニ 事件 一カ  
 処理サレテ 進ニ 外ノ テアリエカラ 私が 大館  
 敬言 署名 長トシテ 洗印シ 又ハ 事件  
 送致ノ 書類ニ 形式上 署名 名ニテ  
 居リエカ 実際ノ 実情 筆 押 取 留  
 ベニモ 考メツテ 居ナド 物トシテハ 知  
 ツテ 居リエセシテ 命 付テ 別紙 致シ  
 エセシ

（九）  
 事件ノ 処理ニ 関係ハ 告 告リ 換事 及 鑑 印  
 特高 課長ニ 訊 不テ 甚ハ レハ 判 別  
 心ト 用ヒシエス



昭和  
年  
月  
日

本事件ニ関シテ私ニ関係有ル事又ハ私ニ  
 関係ナシ事ヲマツテモ 徳取ニ調上ノ考  
 二上ル事カ今何私ノ記憶ニ浮キ来ル時ニ  
 ハ其ノ事実又正シク更ニ清ノ報告致シ  
 二ス 現在ノ知ハ之レ如何シカ 記憶ニマ  
 せん。

①  
 私ガ此ノ事件ヲ知理セル前カラ中山  
 ノ華方ニ対シテハ心カラ同情ノ念ヲ以  
 テ来々知アル事ハ先日徳取調  
 時ニ申上ゲマシム事(通)リデアリ  
 二事件知理ニ當ツテハ更ニ一増  
 シ同情スル様ニナツルアリ  
 從ツテ私ハ華方ノ生存ノ安全ヲ期シ其ノ

昭和 年 月 日

権利擁護ノ為ニ指導ヲ取締リテ行フ  
 又ノテアリマスソレ故私ハ部下ニ教示スル官位ナラ  
 勿論初メ中山黨ノ革命ヲ指導スル  
 日本人又ハ農島組花田出張所ノ所長  
 所長及甚ハ他ノモノハ一般ノ民衆ノ  
 誰レニ対シテモ 革命ヲ打倒スル  
 在テ待等ヲ行ハト 指導ノ事ハ  
 絶体ナリ又 監督ヲ受ケテトカ中  
 止セトカ或ハ 監督ヲ受ケテトカ  
 合モ 絶体ニシテ居リマセン  
 寧ろ口ハ 革命ヲ打倒スルニ  
 ナラン又ハ 監督ハ早クシテナラント  
 指導ノ事ハ 革命ヲ打倒スルニ

昭和 年 月 日

私ハ斯様ニシテ其キ方ノ~~相ノ~~指~~持~~援助  
 ニ當ツテ来々為~~大~~中~~山~~山~~堂~~ノ其キ  
 方全部カラ非~~老~~市ニ山~~堂~~敬サレ~~其~~  
 私ノ去~~フ~~事ハ勿~~論~~敬~~重~~案~~子~~官~~人~~去~~フ~~事  
 ニ良ク從ツテ~~居~~リ~~シ~~ニ~~シ~~ソ~~シ~~テ~~人~~農~~自~~島  
 組~~ハ~~方~~ノ~~去~~ヒ~~付~~キ~~ニ~~ハ~~市~~ニ~~及~~感~~ヲ持~~ツ~~  
 下~~居~~タ~~レ~~テ~~マ~~リ~~シ~~ニ~~シ~~此~~ノ~~事~~實~~ハ~~當~~時~~ノ~~  
 中山~~堂~~三~~居~~タ~~ル~~其~~キ~~方~~ヲ~~諸~~君~~ニ~~訊~~不  
 レ~~ハ~~判~~然~~ズ~~ル~~事~~ニ~~テ~~ス~~。其~~キ~~方~~ヲ~~  
 私~~ハ~~前~~述~~ノ~~様~~ヲ~~信~~念~~テ~~取~~扱~~ツ~~テ~~来~~ル~~  
 マ~~シ~~カ~~ラ~~其~~キ~~方~~ノ~~不~~修~~ニ~~テ~~不~~當~~不~~法~~ナ  
 指~~手~~令~~ハ~~出~~ル~~心~~ヲ~~垂~~テ~~居~~ナ~~イ~~カ~~ラ  
 私~~ノ~~心~~境~~ハ~~現~~在~~ニ~~モ~~七~~分~~ニ~~明~~快~~ナ

昭和  
年  
月  
日

モノデ一 莫ノ巨勢アリモアリニヤシ。此ノ  
 念ハ何処ニ於テモ何時迄モ保持  
 ン得ル確心ガアリニヤ。カラ私ノ申  
 ハ事、實ニ信シテハ充分ナリ。調  
 ヲ得テ其ノ其ノ結果トシ  
 意ヲ得ル。理解ヲ得ル。上  
 4月16日シタイト申シ居リニヤ。  
 三 尚ホ此ノ事ハ 陸軍 頭ニ鍾田特高 課  
 長カラ人指テ事、理ノ外ニ申下  
 シタガ更ニ此ノ事ニ申下  
 鹿島組サレ出所中山 菅十  
 ニ収容シテ 結付サセテ居ル。其  
 方ハ中國ノ俘虜力テハナクシテ

昭和 年 月 日

中國ハ一般自由常務者デアソ事  
 ハ私ハ余ヲ毛信シテ居ルデアリキス  
 其ノ理由トシテハ、鹿島組ト華北當時  
 華北政府ト内閣契約書ガ取交  
 シテ、鹿島組ノ下ニ、鹿島組カ  
 現地ニ僱員ヲ派遣シテ自由華カ集  
 シテ、職場ニ連行シテカラス  
 此ノ間ニ、華北當局ハ、ヤ日本國  
 政府ガ、# 権限ヲ引渡ケテ中  
 間ニ存在シテ居ル、ト思ヒキス。  
 又、此ガ僱員カ、外トスレバ、當時、日本  
 國ノ物産行トシテ、先ツ僱員カ、收  
 所ヲ政府ガ造リ、其ノ管理、一切ハ

昭和 年、月 日

庫、部が責任ヲ以テ担任シタリ  
 アリスル知が中山家子ノ甚キ弟ハ  
 徳島  
 細ノ責任ニ於テ收審所ヲ造リ  
 又其ノ管理又徳島但田出張所  
 が責任ヲ以テ審ツテ去々テアリ  
 斯様大事實問題ノ真カラシ  
 毛私ハ中山家子ニ收審サレテ居  
 ツタ  
 甚キ弟ハ絶対信力テハナカ  
 ツタト  
 信ジテ居ルアリニス又上司カ  
 ラ毛  
 信力テナクテ居リニ  
 一ツ事ヲ記憶シテ居ル  
 一 本事件ニ関シテ差當リ記憶ニ  
 在ルモノ  
 ハ以上ノ通りアリニスガ今何  
 何ニカノ

昭和 年 月 日

下ハシ

機曾ニ記憶ガ浮世其ノ事ガ私ニ  
 聞像ノアルナシニ拘合ゾ涉取調ハノ  
 冬々老ニニ事ト ~~其ノ事~~ 認シハ  
 其ノ事実ヲ其ノ儘正シテ 徳一報  
 告申上ケル事ヲ 此処ニ 徳一折言  
 ヒ致シマス。

三) 申述ヘル事ヲ 漢シテ 居リマスカウ 此処ニ 申述  
 ンマス

中山 崇子 若平 常 指導員 清水 某ノ事ニ  
 関シ 私ノ 知ル 事ヲ 申述 ハマス  
 清水 某ハ 中國ニ 出生シ 國ヲ 藉テ 中國ニ 持  
 ツテ 居タスノ カカ 其ノ 後 日本 國ニ 来テ  
 秋田 縣 山本 郡 鹿後 町ニ 居ル

昭和  
年  
月  
日

住シテ 理髪 費ヲ 燃カシテ 居ルモノダ  
 ソウダス 其ノ後 鹿後所カラ 他ニ 転出  
 シテ 辰ツクノ 事ニ カ此ノ 内ノ 事情ハ 判リ  
 コセシ。

其ノ後 昭和二十年二月頃ト 聞ケル事ニ  
 リマス 秋田縣 警察 本部 特高課長ノ  
 仲サ アツ 後ニ 鹿島組 花岡 玄  
 張所 中山 定房ノ 若手 若手 若手 若手  
 ニ 鹿島組 鹿島組 鹿島組 鹿島組  
 ソレガ 此ノ 清水 甘某ヲ 特高課長 鑑  
 田仁八郎ニ 紹介シタルハ 當時ノ 社  
 田 警察 本部 若手 特高課長 任テ アツタト  
 事ヲ エカラ 此ノ 事情ハ 鑑田 特高



昭和 年 月 日

課長ニ訊不レハ判死トスル事カト思  
ヒマス。

高 從テ日本名デハ清水某ト云ヒユカ  
中國デ出生シ時ノ氏名ハ別カト  
思ヒマス 私ハ判リマセン。

又現在ノ國ヲ籍エ何ウオツテルカモ  
私ハ判リマセン。

105) 私ハ清水某トハ一面識メナイ人デス只中

山寮ニ起シタ事件ノ処理ノ任務デ毎日

中山寮ニ行キユシガ其ノ時一、二回

程清水某ト會ヒヨシタ親シク

話シタ事ガアリマシカラ清水某モ私

ノ事ハ只顔ヤ次ヲ見テ居ルノミデ

知ラテ

昭和 年 月 日

其ノ他事ハ

最初ハ

良クハ新ツテナイト思ヒマス 其モ部下  
 ハモソカラ彼レハ清水ト云フ指導員ガ  
 ト ~~其ノ~~ 園カサレテ遠クカラ其ノ  
 親ト浮テ見タノミデス 其ノ後モ茶  
 求ノ通リ親シク話シテ事ハアリセン  
 其ガ前求 致シテ通リ昭和三年  
 六月中ニ中山寮ノ茶室指導員  
 ガ茶室ニ早業行シテ事案カアツキ  
 ノテ其ノ指導員カラ折言約書ヲ取  
 ツテ事ヲ申シテ今テ記憶ヲ述  
 ルト其ノ時 指導員 早業行シテ  
 指導員一人ニ清水其モ居タト思  
 ハシマス 此レハ 此書部長 菅原三郎

昭和 年 月 日

左ノハニ訊ネルト 詳シク判リマス。

其ノ當時カラ清水 指導員ハ中山生

ノ 荖 弟ニ暴行スルノデ 荖 弟カ連

中カラ 悪評ヲ受ケテ居ントノ 噂カア

ルト 巡查部長 菅原三郎左ノカ

出カアリコシノデ 充分監視シテ居

テノカアリマス。

私ハ清水 指導員ハ中國生シノ人

徳島 紀花園出張所、中山 荖 弟

弟 指導員 日本 人トシテ 産 衛

サシテ居ル事ハ 其ノ當時 巡査 部

長 菅原 三郎 左ノカ 報 告

トアリマス。又 産 衛 部

徳島 紀花園出張所

昭和 年 月 日

鎌田

ノ 経緯トシテ 特高課長が 仲介  
マツ 榎 役デアツタ事ニ 世青部 長  
菅 子ニ 印在ニ 入カテ 報告サシタ  
デアリマス。

(元) 前求ハ 通りノ 事 笑デアリマス カラ 私ハ

清水 某トハ 一回モ 熱心ノ 事ハアリ

ニセシ 從テ 清水 指道ニ 是レテ 甚キ

第ニ 是ノ 所ニ 是レ 様ナキ 事モ 今

又 出シテ 居リニセシ 又 此ハ 部下ノ 終言

察官ニ 示シテ 清水 指道ニ 是レテ

甚キ 力ニ 是ノ 所ニ 加ハル 様ナキ 事

又 亦ト 合モ 出シテ 事ハ 御社ニ アリ

ニセシ。

昭和 年 月 日

鎌田

一、先  
 前述べ通りノ事。笑。デアリマス。カ。私ハ  
 清水某トハ一回モ。恐。ワ。事ハアリ  
 ン。セ。ン。從。テ。清水。指。道。員。ニ。お。し。テ。表。示。  
 第。ニ。是。事。所。ニ。ル。様。ナ。格。子。モ。命。令。  
 又。出。し。テ。居。リ。マ。セ。ン。又。私。ハ。部。下。ノ。警。言。  
 警。官。ト。シ。テ。清水。指。道。員。ニ。お。し。テ。  
 其。事。所。カ。ニ。是。事。所。ヲ。加。ハ。ル。様。ナ。格。子。ト。  
 又。命。令。出。し。テ。事。ハ。終。了。ス。マ。リ。  
 ン。セ。ン。

昭和 年 月 日

三 札ハ中山密子ノ指導員デ親シク懇リ  
 合ワシ人ハアリセシク只ハ三月十日エデ  
 中山密子ノ密子長イテケツタ 伊勢カ  
 某トハ中山密子ニ於テテ公的ナ事  
 デ僅カ合ワシ事カアリエエガ親シク  
 懇リ合ワシ居リセシク。  
 其ノ他ノ指導員トハ一回ニ紹介サシ  
 事ハマリエセシカラ何レガ誰レ指  
 導員カ私ニハ判死ト致シセシク  
 従ツテ福田某ト云フ指導員モ何  
 シ及ナカ私ニハ何ニモ判リセシク  
 斯ニナ情況デエカラ私ハ福田指  
 導員ニおシテモ其ノ第一目録行

昭和 年 月 日

三 加へル様ヲ指テ命合ナシカ出シ  
 事ハアリユセシ 又部下ヲシテ 被田指  
 道ヲ負ニシシ 甚キ事ニ思フ所ヲ加へ  
 ル様ヲ指テ 命合ヲサセテ 事ハ  
 終テアリユセシ。  
 三 前記ニシテ 甚キ事ニ同情シテ  
 居リ 甚キ事ノ生テ 命合ト權利  
 ノ保護ヲ任テ 確心シテ 居ル  
 テスカラ 決シテ 斯様ヲ不法 不  
 正ナル 事トシテ 行テ 加へル  
 様ヲ 命合ハ 命合ハ 事ハアリユセシ。  
 止ルニ 様ヲ 指テ 命合ニシテ 行テ 命合ハ 禁  
 止ルニ 様ヲ 指テ 命合ニシテ 行テ 命合ハ 禁

昭和 年 月 日

(三) 中山安子、華弟指導、清水某及、湯田某、申立テヤ、鹿島、花岡出張所、河野所長ヤ、元井某ノ申立ハ、適ヒト思ヒマス。私が大館、教員、長就任中ノ事、ハナト思ヒマス。私ハ中山安子ノ華弟ノ殺人事件ノ処理、爲メ七月一日午前、零時五分、花園、警部、長、派出所ニ出張シ、七月十五日、引續キ、左所、勤務、シテ居リ、シテ、甚ノ問、毎日、三、四、回、ハ中山安子ニ行ク、部下、私カ、中山安子ニ行ク、任務ハ、部下、勤務、官、勤務、官、總、監、目、事、ト、部



No.

130

昭和

年

月

日

下カラ其ノ時ノ状  
 造ニ付テ其ノ取  
 ハ、  
 了

私ノ名前ハ三浦太一郎ヲ現住所ハ新田縣北秋  
田郡大館町赤館一番地ノ一ニアリマス。私ハ昭和二  
十年六月三十日ノ當時大館警署署長ヲアリ  
マシタ。花園巡査部長派出張所(現在、警署部補派  
出張所)モ私ノ監督下ニアリマシタ。昭和二十年六月  
月三十日ノ夜十一時三十分頃私ハ中山寮ノ華  
芳達ガ逃ケタルト云フ報告ヲ受ケマシタ。此ノ  
報告ヲ受ケタルヤ私ハ花園ニ於ケル二人ノ巡査ニ  
華芳達ガ真中ノ寮ノ周傍者以外ノ一人  
ニ是ガ所ニシテイ様ニ極力監視セヨト命  
令シマシタ。ソレカラ私ハ華芳達ノ逃走ノ事ヲ  
新田縣ニ報告シマシタ。同時ニ新田外方  
ヲ通シテ新田地方裁判所検事ヲ云々報告シ  
マシタ。ソレカラ私ハ約十五人ノ警署長官ヲ召集  
シテ華芳達カ逃ケタル事ヲ話シテカラ逃ケタ  
華芳達ヲ逮捕スル様ニ命ジマシタ。此ノ  
ソノ時私ハ情報ニ依リテ華芳達ハ鹿嶋  
シヤマル、唐鉄等ヲ捕ツテ逃タルカ逮捕ハオホ  
ヤカニ行ヒテケレムナラナイト注意シマシタ。  
私ハ更ニ警署長官達ニ一般ノ市民カ逃ケ  
タル華芳達ニ是等ノ人トイフ様ニ  
~~阻止~~ 止シナケ

レハナラナイト刻成シマシタ、私ハ警防団ニ接即  
 シモ~~報~~マシタ、ソウシテ私ハ警防団長~~達~~ニ任  
 務ノ合担ヲシテカラ約七人程警防団長ヲ引  
 率~~シ~~シテ花園ニ行キマシタ、花園ニ着イテカラ四  
 ノ数警防団長ヲ引率シテ現場ニ行キマシタ、現場ヲ  
 見止ワテカラ検事局ノ検証ノ為ニ現場ヲ其後  
 シテ置ク様ニ~~監~~監視セヨト警防団長ニ命ジマ  
 シタ、私ハ警防団ヲ調ヒタ時五十二名ノ病氣ノアル警  
 防団長~~見~~見シマシタ、警防団長ヲ調ヒテカラ私ハ花園並査  
 部長~~役~~所ニ戻リマシタ、其ノ夜私ハ一晚其夜ニ  
 泊リマシタガ七月十七日カ十八日マデノ間~~ス~~ト泊  
 リ続ケマシタ、~~昨~~ケル警防団長カ初メテ帰ッテ  
 来タノハ~~七月~~前ノ五時頃デアリマシタ、~~初~~帰ッテ来  
 警防団長ヲ花園並査部長所ノ近クニアツタ  
 警防団長ニ收容シマシタ、七月一日ノ晝~~部~~約五百名、  
 警防団長カ帰ッテ来マシタ、ソノ中ノ午~~後~~ニ或  
 ハ前ニシテシハラレタ者ガアリマシタ、コレ等ノ警防  
 団ハ七月一日ノ晝~~部~~夜ニ此警防団ニ居マシタ、更ニ二  
 日一晝夜ト三日一日ト続ケテ居マシタ、コレ等ノ  
 警防団長カ三日目ノ晝~~部~~テ食ノ物カ~~出~~出ラレシ  
 カツタ、初メテ警防団長カ戻ッテ来タ時私ハ彼等ヲ

鷹場ノ隣ノ芝~~楽~~楽館ニ収容スルハ算リシガ  
 づカ華第~~達~~達ガ痛~~刺~~刺ニ罹~~予~~予他ノ市民ニ依  
 染スルハ虞~~レ~~レシカアルニテ花園~~館~~館ノカ~~ラ~~ラ拒否サレタ  
 シ、更ニ私ハ帰~~予~~予来~~ル~~ル華第~~達~~達ヲ直~~カ~~カニ奉  
 ニ帰~~ラ~~ラシムカツタ~~レ~~レトシカ檢事~~局~~局ノ檢~~証~~証ガ未~~ダ~~ダ  
 ニナ~~イ~~イテ出~~来~~来~~セ~~センコトシ、以上ノ理由~~ヲ~~ヲ華第~~達~~達  
 前~~述~~述ノ鷹場ニ収容シナ~~ケ~~ケルナ~~ラ~~ラナ~~カ~~カ~~ラ~~ラ~~ル~~ルコ~~ト~~ト案ノ  
 鷹場ニ収容サレ~~ル~~ル華第~~達~~達ノ中~~ニ~~ニ収容中  
 死者~~ノ~~ノ出~~ル~~ルカ、何~~ウ~~ウカハ~~判~~判~~死~~死ト~~覺~~覺~~シ~~シ~~テ~~テ居~~リ~~リ~~マ~~マ~~セ~~セン、

昭和三年八月九日

三浦太一郎

R E S T R I C T E D

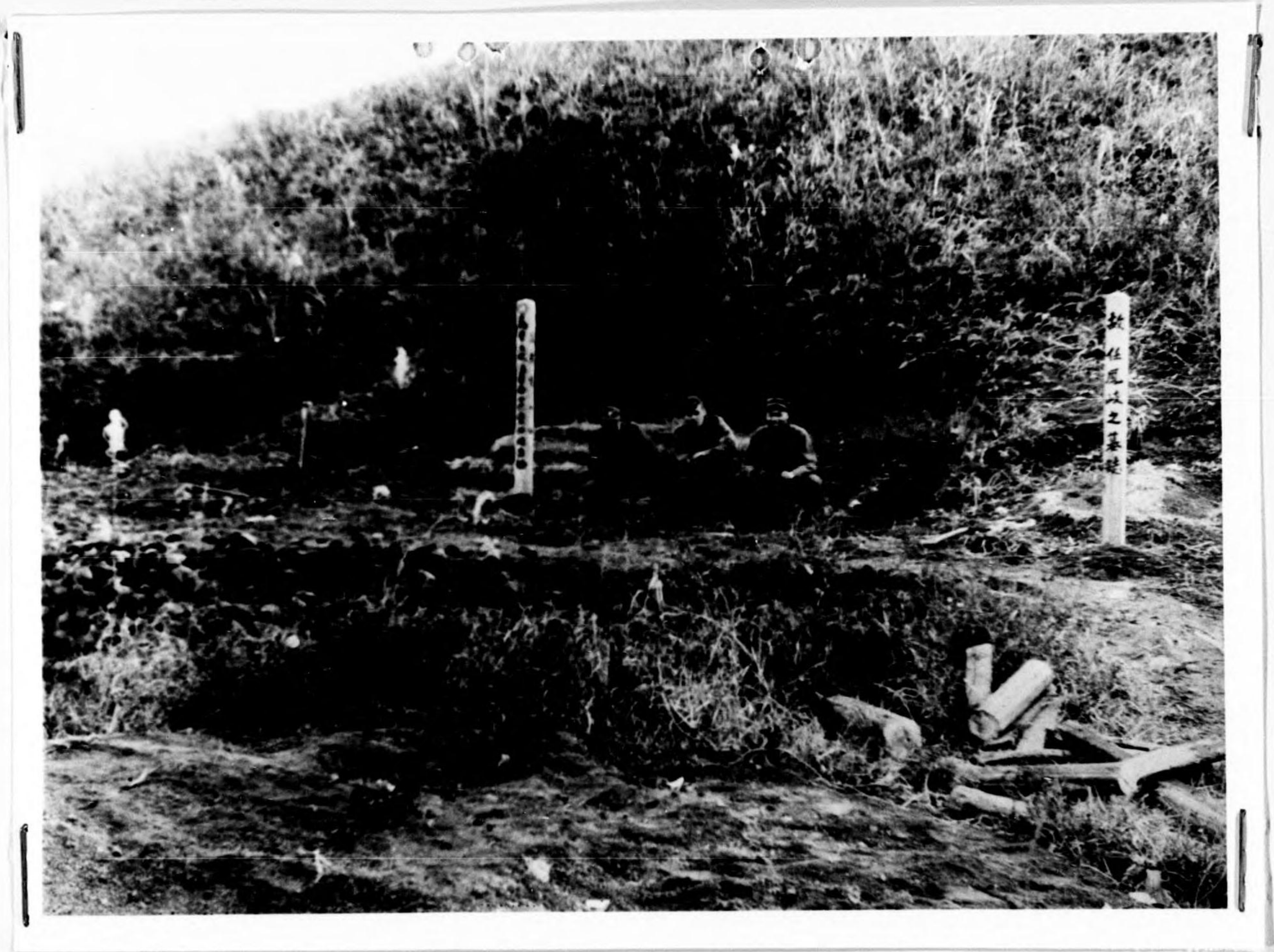


Photograph of Chusan Camp

EXHIBIT "I"

R E S T R I C T E D

R E S T R I C T E D



Photograph of three Graves.

EXHIBIT "XXVI"

R E S T R I C T E D

RESTRICTED



Photograph of three graves.

EXHIBIT "XLVII"

RESTRICTED

RESTRICTED



Photograph of East Side of Chusan Camp.

EXHIBIT "XXIX"

RESTRICTED



R E S T R I C T E D



Photograph of 21 skulls removed from mass grave.

EXHIBIT "XXX"

R E S T R I C T E D

R E S T R I C T E D

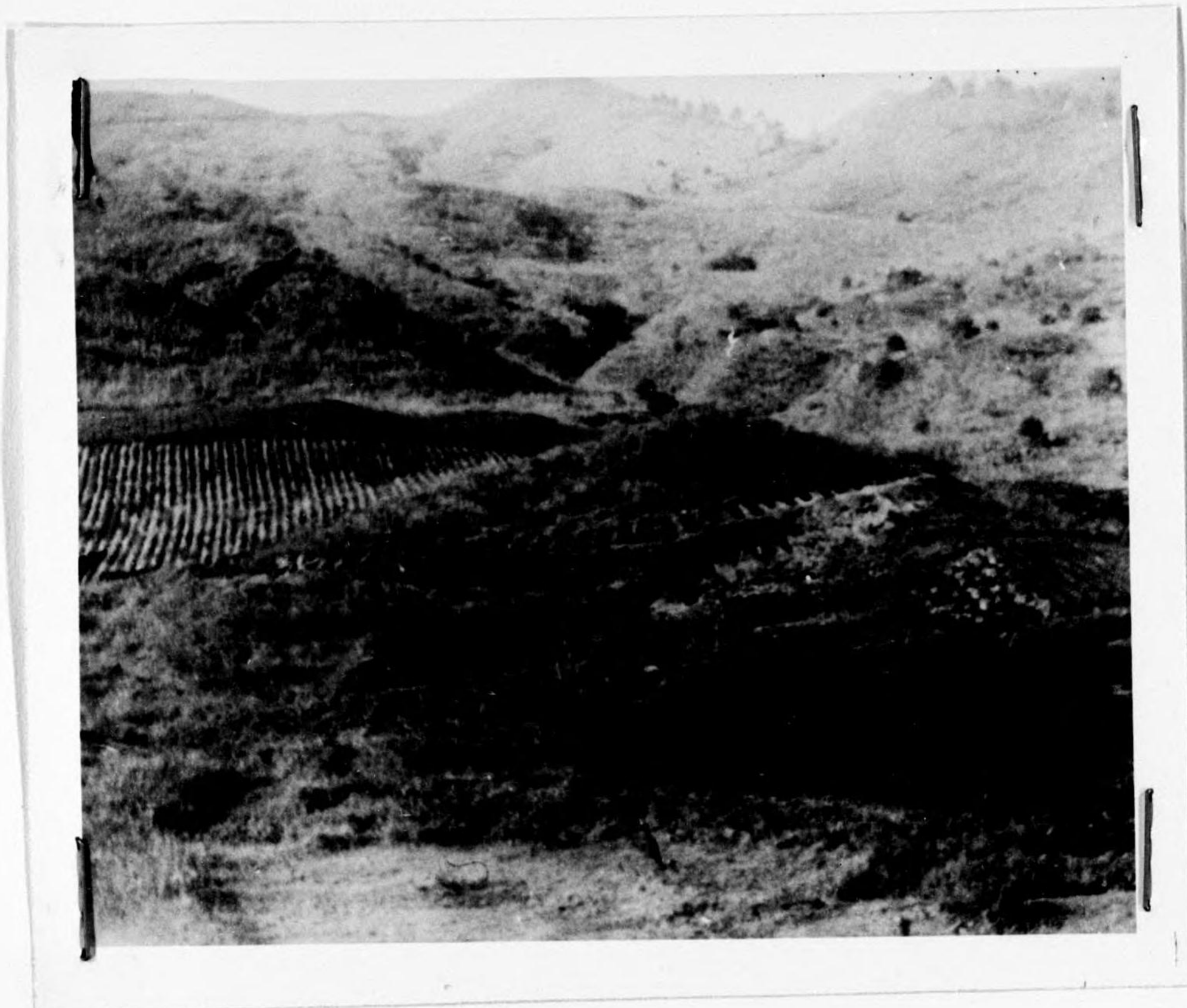


Photograph of 59 Skulls and Mass of Bones  
recovered from Mass Grave.

EXHIBIT "XXXI"

R E S T R I C T E D

RESTRICTED

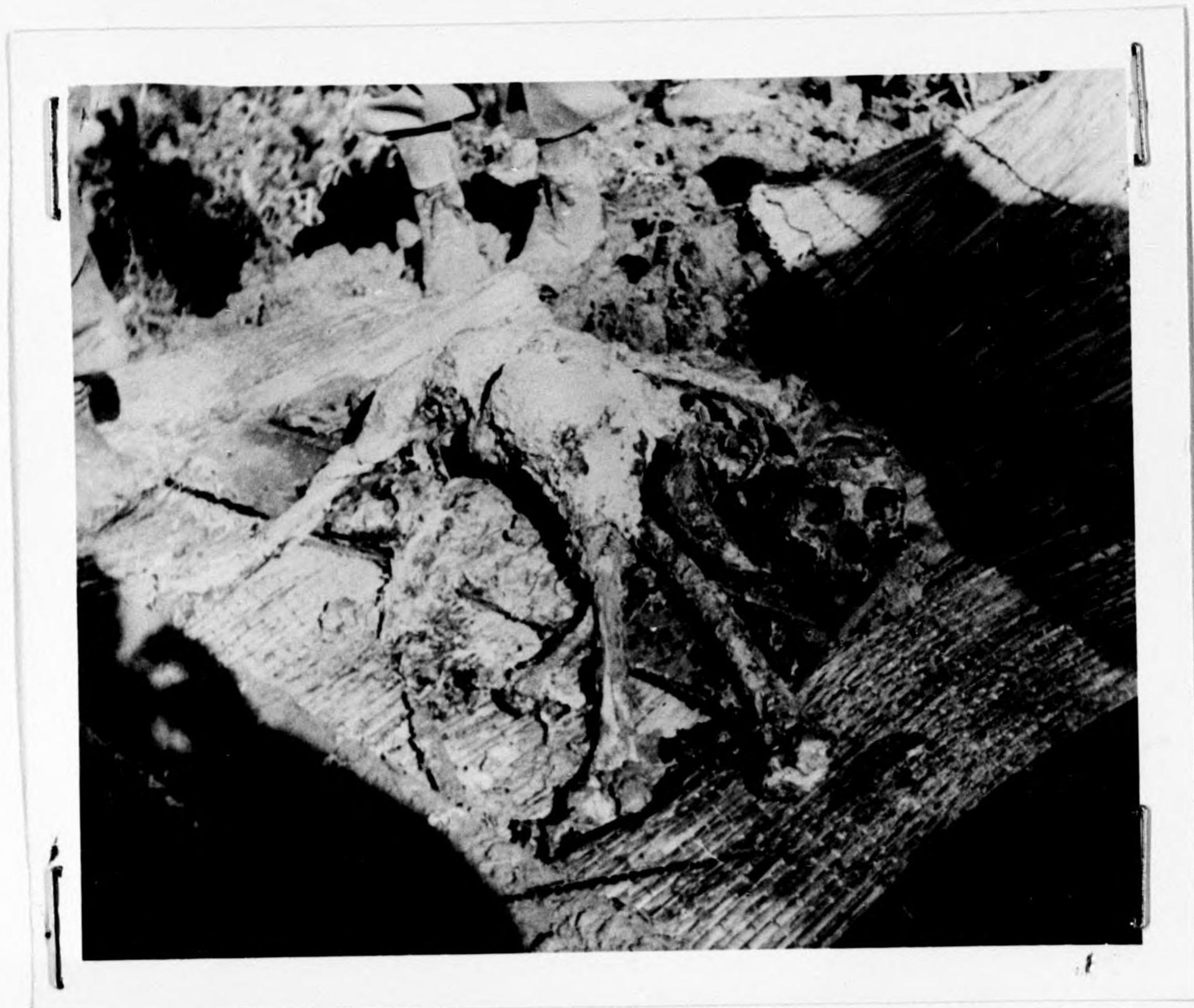


Photograph of mound containing 88 Graves.

EXHIBIT "XXXIV"

RESTRICTED

R E S T R I C T E D



Photograph of Remains of Body recovered  
from single Grave.

EXHIBIT "XXXII"

R E S T R I C T E D

R E S T R I C T E D



Photograph of Crematory Pit and East Side  
of Chusan Camp

EXHIBIT "XXXIII"

R E S T R I C T E D

R E S T R I C T E D

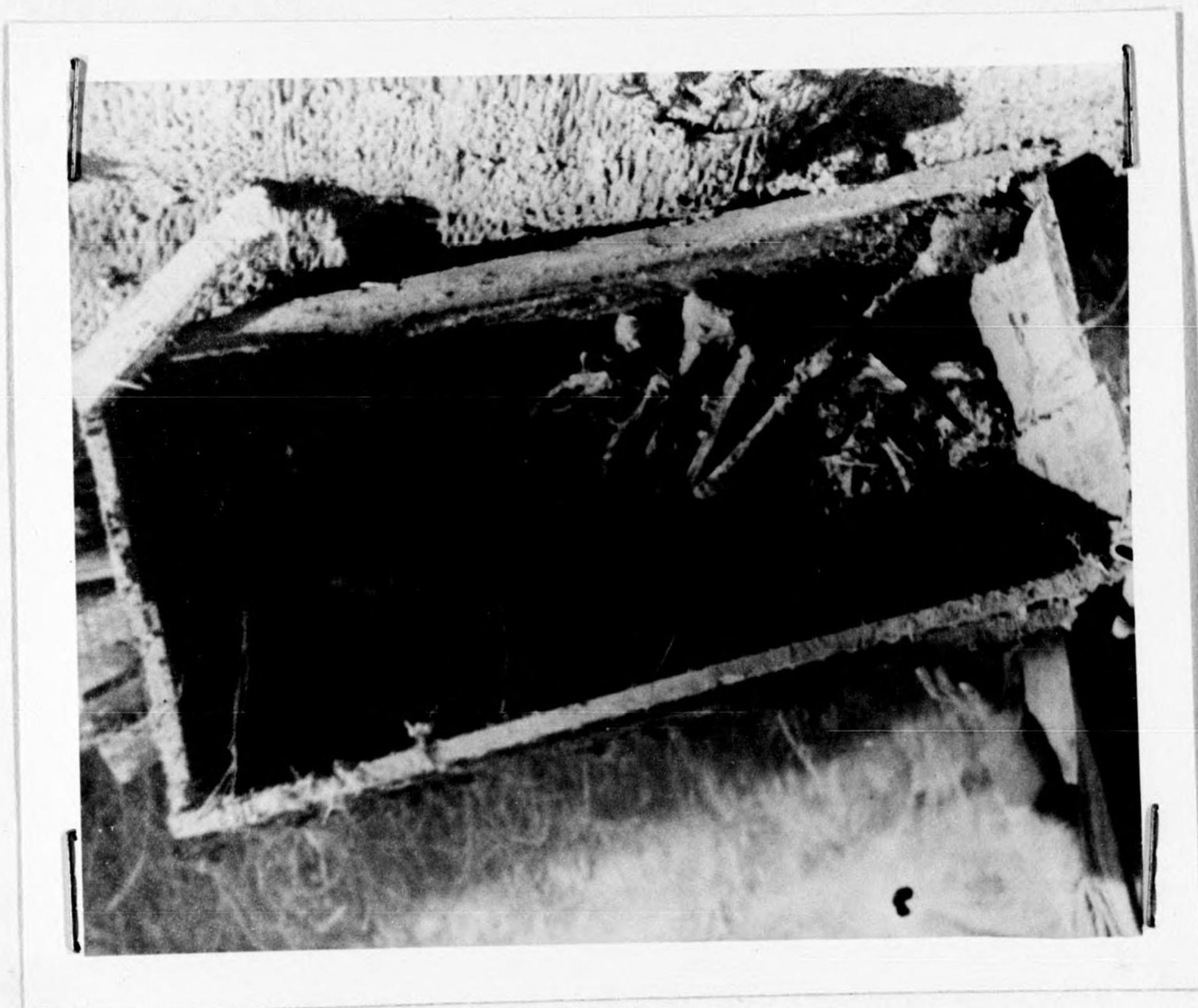


Photograph of single individual Grave.

EXHIBIT "XXXV"

R E S T R I C T E D

RESTRICTED



Photograph of Box with Remains of Body  
which was removed from an individual Grave.

EXHIBIT "XXCVI"

RESTRICTED